

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 51 桜美林大学 石川利江先生

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■異動・転居などによる登録情報の変更(事務局より)

情報や郵便物を確実にお届けするため、年度の変わり目で所属、住所、メールアドレスなどが変わる場合は、学会 HP の会員専用ページ <https://bunken.org/jahp/mypage/logins/login> にアクセスして、速やかにお手続きください。

ID、パスワードが分からない場合は、事務局

(jahp-post@bunken.co.jp) へお問い合わせ下さい。

希望する会員種別が変わる場合や、今年度限りで退会の場合は、

3月末日までに jahp-post@bunken.co.jp へお知らせ下さい。

なお新規入会は、随時受け付けています。

■日本健康心理学会第30回記念大会(明治大学)

大会参加(事前)・発表申込・会員企画シンポジウム申込の受付を開始しました。

詳しくは <http://jahp.wdc-jp.com/conf/30th/index.html>

2) 健康心理学コラム Vol. 51

「健康領域におけるコーチング心理学の可能性」

(桜美林大学 石川利江)

コーチング心理学という言葉を知ったことがあるでしょうか。

「コーチング」はスポーツの分野のことだと考えられるかもしれませんが、ビジネス分野でも目覚ましい発展をとげている介入法です。

しかし、ビジネス分野で活動するコーチの多くが心理学の教育を受けていないことから、商業的コーチングの質の問題やコーチングによる精神症状の悪化など様々な問題も指摘されるようになりました。

こういったビジネス偏重で学術的関心が低かったコーチングの流れを、心理学の1つの応用分野として専門的な実践として発展させようとする活動が欧米で活発化しました。

それがコーチング心理学です。

心理学の理論と研究法を基盤とする、健康な個人を対象とする、個人や組織のパフォーマンスやウェルビーイングの向上を目的とする、人生や仕事のゴールの達成を促進するために個別あるいはグループでの援助を提供するといったことがコーチング心理学であると言えます。

私の研究室でもコーチング心理学に基づく実践的介入や研究が行われています。

例えば、若者の自殺予防のための地方自治体との協働事業、女性の就労支援、看護師のプリセプター教育、保健師のヘルスサービスマスの向上、就労者のリーダーシップ教育など様々な研究が行われてきました。

コーチング心理学には多様なモデルを用いたアプローチが考えら

れており様々な領域への活用が考えられますが、特に健康領域に関するヘルスコーチング研究の発展が望まれます。

参考文献

石川利江 (2017) 高齢者とコーチング心理学 森和代 (監修) ライフコースの健康心理学 晃洋書房

石川利江・松田与理子・神庭直子・奥田訓子・鈴木文子 (印刷中)

社会情動コーチング尺度作成の試み 心理・教育学系研究

西垣悦代・堀正・原口佳典 (2015) 編著 コーチング心理学概論 ナカニシヤ出版

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止, アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 < jahp-post@bunken.co.jp >

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 < jahp-ML@bunken.co.jp >

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>